



本市のいじめの現状と対策

自由民主党議員団 山口 雅弘議員

問 子供たちは皆が同じではなく、姿も能力も全員が違
うことを理解させ、身体的優位性を持ちながら危害を加
えるというのは、いじめではなく犯罪だということの子
供たちに教えてほしい。本市におけるいじめの認知件数
と、その対策はどうなっているか。

答 県内でも以前、城島町、筑前町で同様のいじめによ
る事件がおきた。本市ではそれ以降、未然の防止、早期
発見、早期対応のために二十数項目にわたるアンケート
をとり、データ処理できるシステムをとっている。子供
たちの4段階での回答をデータベース化し、ある程度数
値化しており、いじめの兆候がある、可能性があるなど
もあらわれてくる。さらに、教師もアンテナを高く張り、
未然防止に努めている。いじめは、18年度をピークと
して毎年減り、23年度は小学校、中学校ともに6件で、
計12件だったが、全て解消している。

インフォメーション

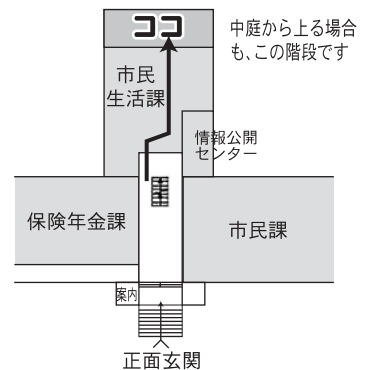
■ 次の定例会は12月です

詳細については、11月上旬に議会事務局へお問い合
わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■ 傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができま
す。議場は市役所本庁舎
3階にあります。議場
から傍聴席へ直接行くこ
とはできません。傍聴席
へは、本庁舎中庭入口(1
階)または市民生活課(2
階)奥の階段からお上
りください。(右図参照)

傍聴席への階段の位置(本庁舎2階)



■ 会議録の閲覧

本紙掲載の代表及び一般質問は、質問した議員自らが
要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開セン
ターで会議録をご覧ください。12月上旬から閲覧できま
す。ホームページでも12月上旬から検索・閲覧できます。

トピックス

「世界一元気な高齢者」106歳の昇地三郎さんの講演から学んで

しょう ち



大牟田市健康づくり市民大会が9
月8、9日に開催されました。今年
の講師は、福岡県下の男性最高齢
106歳の昇地三
郎さん(養護施
設「しいのみ学園」の創設者)です。
赤いマントでさっそうと登場し、パ
ソコンを使って講演されました。

「私のそばにはなぜか美女が寄っ
てくる」などと会場を楽しい笑いに

包みながら講演され、最後には
黒田節の踊りまで披露されました。

楽屋でもお話を伺いましたが、
先生の頬はそばで拝見しても本
当につやつやでした。今でも、
たくさんの外国語を学んであら
れる向学心にも脱帽です。また、



昇地流「十大健康」

- 一、笑顔・ユーモア
- 一、冷水摩擦
- 一、祈る・感謝
- 一、一口三十回噛む
- 一、棒体操
- 一、語学講座の勉強
- 一、新聞を読む
- 一、口八丁
- 一、日記を書く
- 一、上向きに寝る

棒体操用のやる気棒や
養護施設のおもしろ教
材など、創造力豊かな
一面も紹介されました。

さらに、7月16日か
ら32日間、「公共交通
機関を利用して世界一周をした高齢者」としてギネス世
界記録にも認定されたとのこと。驚きのスーパーマンです。

大牟田市の高齢化率は、9月1日現在、30.5%。全国
平均より10年早く高齢化が進んでいます。それにつれ、
本市の医療費も増え続けていることが大きな課題の一つ
にもなっており、今年度、国民健康保険税や介護保険料
も値上げせざるを得なくなりました。

高齢になっても、健康でいろいろな楽しみや生きがい
を持てることは、自分自身にとっても、周りの人にとつ
ても幸せなことですね。昇地先生に学ぶ健康法、皆さん
もできることから実践してみませんか。

いきいき健康長寿の
大牟田をめざそう

